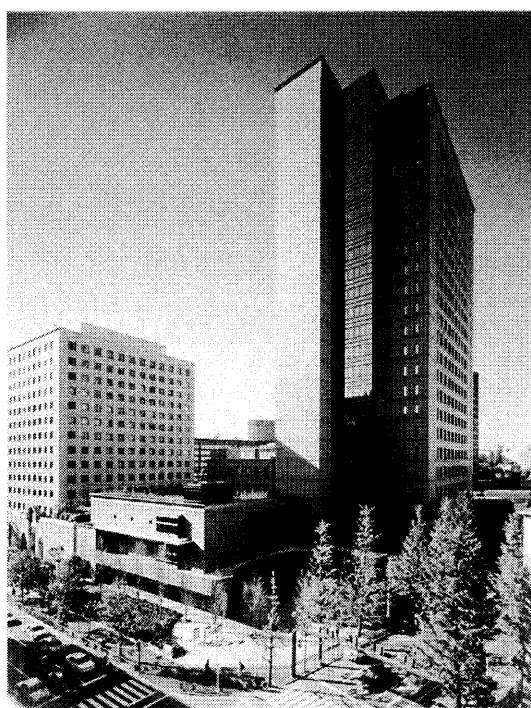


日本高等教育学会第9回大会

==== プログラム ====



2006

平成 18 年 6 月 3 日(土)・4 日(日)

国立大学財務・経営センター

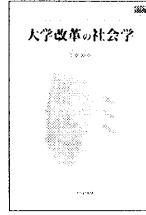
大学改革の海図



矢野眞和著
定価3360円

高等教育市場をめぐってしのぎを削る14大学の最前線から、大学改革の潮流を読み解き、日本の大学の進むべき将来像と高等教育システムの骨格を描く。

大学改革の社会学



天野郁夫著
定価4410円

大学を支配してきた秩序が、一連のドラスティックな改革によって崩壊しつつある。新しい秩序は何を基軸に据えればよいか。大学改革の局面から考察する。

大学改革のゆくえ



天野郁夫著
定価2520円

日本の大学は、アメリカの大学の模倣から離れ現実をふまえた新しい大学像を創造する段階へきている。新世紀を迎えた日本の高等教育の明日を読み解く。

大学開発の担い手



M. J. ワース他著
定価2625円

大学発展のための長期的なプロジェクトに携わる専門職員ディベロップメント・オフィサー。セールスマン、連絡調整者、マネージャー、リーダーという四つの役割を紹介する。

戦後日本の高等教育改革政策

土持ゲリー法一著
定価7350円
アメリカ型をモデルとした一般教育や単位制が、本来の精神からはずれ、高等教育改革が混乱していく過程を新資料をもとに究明。

戦後大学改革

羽田眞史著
定価4725円
戦後大学改革を国土計画、科学・技術を中心に分析。1960年代に至までの大学の諸政策の意義を明らかにする。

新版 戦後大学改革の展開

黒羽亮一著
定価3780円
第二次大戦後、日本の高等教育諸学校制度は大きく変更した。本書は、昭和30年代から最近までの大学政策の展開について述べる。

戦間期日本の高等教育

伊藤彰浩著
定価6510円
高等教育発展の様相と、その意味するところを、高等教育拡充政策の展開と高等教育変動の考察から解明する。

新制大学の誕生

土持ゲリー法一著
定価7350円
占領下および占領終結以降の高等教育政策、とくに戦後の私立大学政策に焦点をあて、その変遷過程を実証的に考察する。

シカゴ大学 教授法ハンドブック

プリンクリ他著
定価2100円
大学の教室で体験した事例をもとに、授業の組み立て方、講義の仕方、評価の方法など実践的・具体的アイデアが語られる。

授業のデザイン

山口榮一著
定価1995円
授業はどのように計画すればいいのだろうか。授業を計画し、実行し、評価する流れを、システムとして捉える発想からの授業論。

大学授業を活性化する方法

杉江修治他著
定価2940円
自分の目指す授業にあてはまる教授法がない。大学教師にも応用可能な授業の事例を紹介する。実践例を多数紹介し、その根拠まで解説。

大学授業の心得

クラントツ著
定価2520円
ユーモアを交え、生き生きと語りかけてくる。大学授業の実践的ガイドブック。カンニング、セクハラなどの問題も取り上げる。

大学教師の自己改善

バーマー著
定価3360円
大学教師の挫折、不安、絶望などを払拭するために、教師自身の個性と原則を重視した授業改善が必要であることを呼びかける。

高等教育とICT

山地弘起・佐賀啓男編
定価2940円
学生の学習効率を上げるメディア活用の実践例と、一人一人の大学教師の教授能力を高めるためのFDの取り組みを紹介する。

ICTを活用した大学授業

小原芳明編
定価2100円
いつでも、どこでも学習できる教育を目指し、様々な取り組みに挑戦している玉川大学の事例を関連トピックと共に紹介する。

学生参加型の大学授業

ジョンソン他著
定価3675円
大規模な授業で、受け身の学生たちをいかに能動的な学習者に変えるか。授業の活性化に役立つ実践ガイド。

成長するティップス先生

池田輝政他著
定価1470円
名古屋大学ウェブ版ティーチング・ティップスを元に、より一般化して各種教育機関で使えるように作成された普及ガイドブック。

— ごあいさつ —

国立大学財務・経営センターでは2006年6月3日(土)4日(日)の両日、日本高等教育学会第9回大会開催をお引き受けすることになりました。大会会場として当センターの東京連絡所があります学術総合センターの会議室を使用します。地下鉄の竹橋駅または神保町駅から徒歩3～4分の便利なところにあります。

大会に先立ちまして、会員の皆様から自由研究発表の申し込みを募りましたところ、おかげさまで予想以上の70件の申し込みがありました。以下のようにプログラムを作成しましたが、研究分野はこれまで行われていた研究から、最近なされるようになった研究等、多岐にわたります。いずれも研究タイトルから発表者の意気込みが感じられ、発表会場の活発な討論が予想されます。

また学会研究部の設定した課題研究では、「青年期教育としての大学教育—大学から職業への移行をめぐる—」「高等教育とジェンダー」「専門職大学院における教育と研究：社会系を中心に」という3つの部会が開かれます。これまた現代の高等教育研究のなかで取り上げられ、検討されなければならないテーマと考えられます。フロアーからも積極的に討議にご参加ください。

大会2日目の午後からは、大学評価・学位授与機構と当センターとの共催で、公開シンポジウム「高等教育のファンディングと評価」を開きます。高等教育のファンディングと評価とは深く結びついておりながら、両者を同時に検討することはこれまで十分になされてきませんでした。そこでこのシンポジウムでは、まず現在のファンディングと評価を取り巻く状況を報告していただきます。そして国立大学からの視点、私立大学からの視点、特に私学経営との関連性、そして行政政策からの視点で、それぞれの関係者の皆様から報告していただきます。実りある議論ができることかと思えます。

さて当センターの高等教育学会に関係するスタッフは僅かであり、細部まで行き届いた大会運営ができるかという不安があります。もちろん最善を尽くしますが、不備な点がございましたらご容赦くださるようお願い申し上げます。

日本高等教育学会 第9回大会準備委員会
委員長 丸山 文裕

－ 大会 日 程 －

6月2日(金) 大会前日

17:00 ～ 19:00 理事会 (学術総合センター10階会議室)

6月3日(土)

9:15 ～ 受付 (1階)

10:00 ～ 12:00 自由研究発表 I (1階・2階・11階)

12:00 ～ 13:00 紀要編集委員会 (10階会議室)

13:00 ～ 15:00 自由研究発表 II (1階・2階・11階)

15:20 ～ 17:50 課題研究

I 「青年期教育としての大学教育－大学から職業への移行をめぐって」 (11階)

II 「高等教育とジェンダー」 (2階中会議室 1&2)

III 「専門職大学院における教育と研究：社会系を中心に」 (2階中会議室 3&4)

18:00 ～ 20:00 懇親会 (3階食堂)

6月4日(日)

9:15 ～ 受付 (1階)

10:00 ～ 12:00 自由研究発表 III (1階・2階・11階)

12:00 ～ 13:00 シンポジスト打ち合わせ (10階会議室)

13:00 ～ 13:30 総会 (一橋記念講堂)

13:40 ～ 16:30 公開シンポジウム (一橋記念講堂)

「高等教育のファンディングと評価」

(大学評価・学位授与機構と国立大学財務・経営センターとの共催)

－ 大会参加のご案内 －

- 参加費** : 正会員・臨時会員 5,000 円
学生会員 4,000 円
懇親会費 4,000 円
※シンポジウムは、一般公開のうえ無料にて開催します。
- 学会年会費** : 大会会場では、学会年会費の納入はできませんのでご了承ください。
ただし、住所や所属の変更、新会員の申込書の配布などのための学会窓口は設けます。
- 入場** : 会場及び懇親会会場への入場は、必ずネームプレートをつけてください。
原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートは日程終了後受付へお返しください。
- 呼び出し** : 会場での呼び出しは行いませんのでご了承ください。連絡事項は、受付近くの掲示板にてお知らせいたします。
- 欠席の場合** : 発表者が欠席するときは、大会前日（6月2日）までに必ず大会準備委員会に E-mail または FAX でお知らせ下さい。
- 資料のコピー** : 大会準備委員会によるコピーサービスは行いません。自由研究発表用の配付資料等は各自が必要な部数をご用意下さい。
- 昼食** : 3日(土)～4日(日)は3階食堂は営業しておりません。会場周辺に食堂・レストランがありますのでご利用下さい。
- 会員控室** : 会員用スペースにはお茶が用意してあります。ご利用下さい。
- クローク** : 大会開催中はクロークでお荷物をお預かりします。ただし、貴重品は携帯して下さい。
- 懇親会** : 6月3日(土)18:00～20:00に3階食堂で懇親会を開催します。なお、懇親会中のお荷物は、懇親会会場内のクロークにてお預かりします。
- 喫煙場所** : 建物内は禁煙、ただし、喫煙場所が1階・2階・3階に設置されております。千代田区内は路上喫煙禁止になっています。ご注意下さい。

－ 発表者へのお願い －

1. 発表および質疑応答時間

1名 20分

2名 40分

3名以上 55分

全ての発表について、以下の要領でタイムキーパーが目安をお知らせします。

【1 鈴】 発表終了5分前

【2 鈴】 発表終了時

【3 鈴】 質疑応答終了時

2. 発表用機械器具

発表申し込み時に申し込まれた機器（プロジェクター）は準備いたします。

－ 司会者へのお願い －

1. 発表および質疑応答時間

タイムキーパーの合図を参考に、予定時間をオーバーしないようご配慮ください。

2. 司会者受付

司会者受付を別途に設けますので、来場時には、まず受付におこしください。

3. 総括討論

各セッションの最後に「総括討論」の時間を設けておりますが、利用できる時間はそれぞれの部会によって異なっております。この時間の活用方法は司会者に一任しておりますので、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

－ 会場へのアクセス －

【東京駅から】

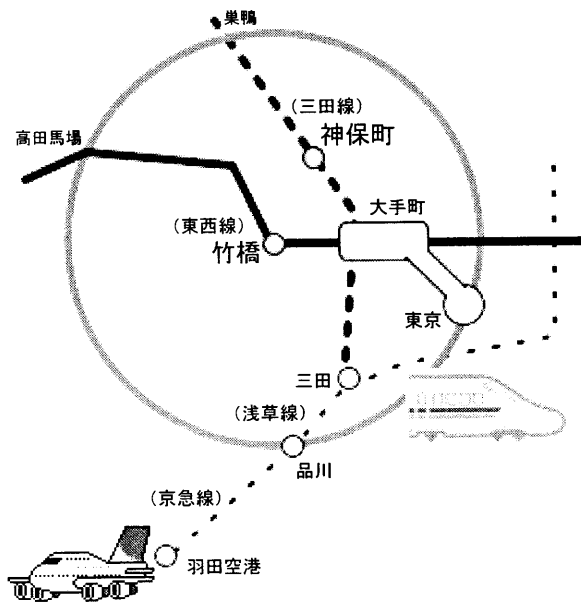
地下鉄利用：東京駅(丸の内地下北口・日本橋口)→(徒歩10分)→大手町→(東西線:2分)→竹橋 160円

タクシー利用：東京駅→学術総合センター(10分弱) 1000円程度

【羽田空港から】

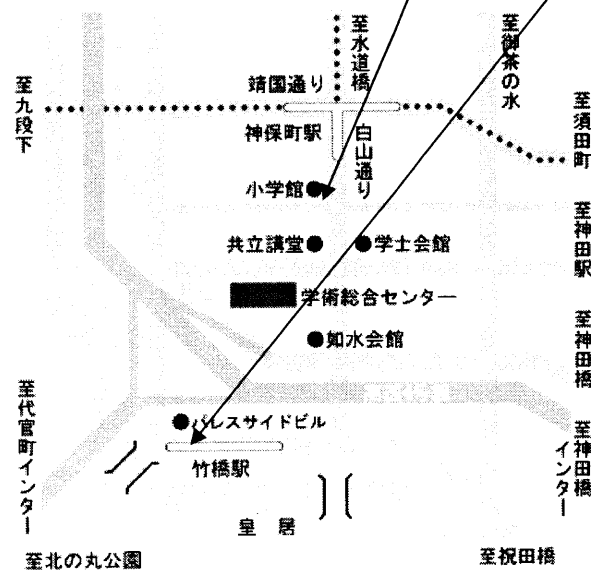
京急線・浅草線・三田線利用：

羽田空港→(京急・浅草線)→三田(乗り換え)→(三田線)→神保町 1時間弱 590円



・東京メトロ半蔵門線/都営三田線・新宿線
「神保町」A8出口 徒歩3分

・東京メトロ東西線「竹橋」1b出口 徒歩4分



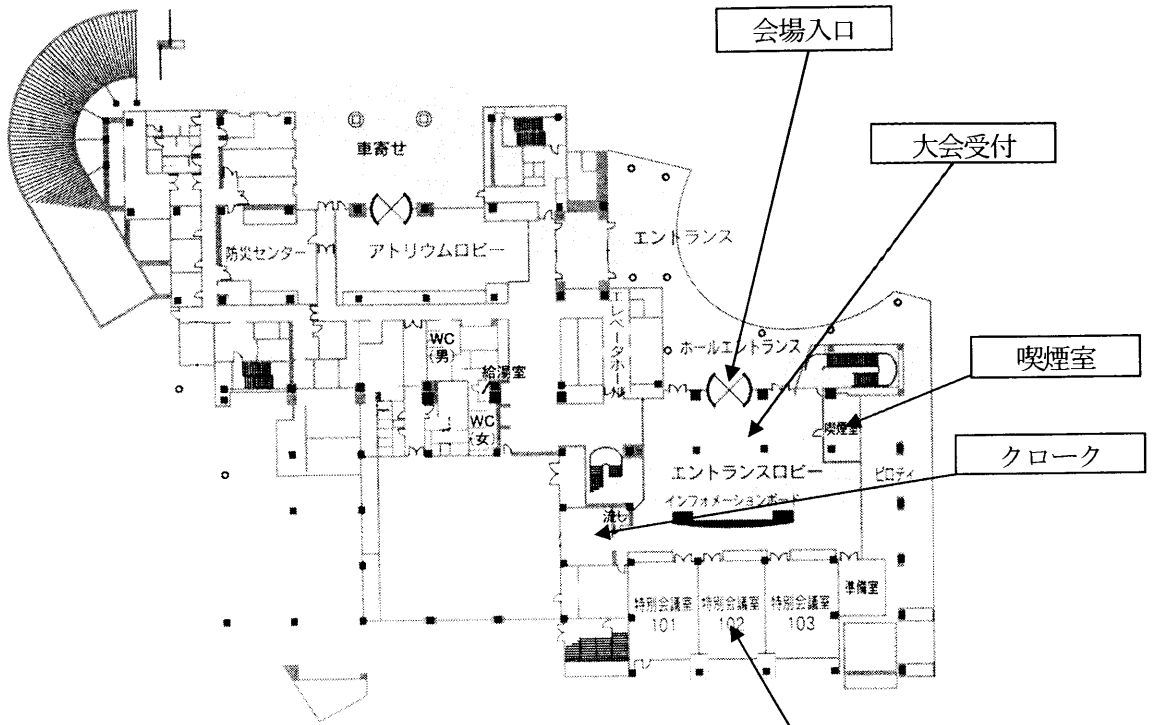
－ 大会会場一覧 －

6月3日(土)		
9:15～ 受付		
10:00 ～ 12:00		
自由研究発表Ⅰ		
1F特別会議室	I-1部会	キャリア①
2F中会議場1	I-2部会	大学の入口と出口
2F中会議場2	I-3部会	研究と評価
2F中会議場3	I-4部会	経営管理
2F中会議場4	I-5部会	学部教育
2F会議室	I-6部会	専門職教育
11F会議室	I-7部会	大学のグローバル化
13:00 ～ 15:00		
自由研究発表Ⅱ		
1F特別会議室	II-1部会	大学経営
2F中会議場1	II-2部会	学生の教育
2F中会議場2	II-3部会	大学の国際化
2F中会議場3	II-4部会	大学教育の質保証
2F中会議場4	II-5部会	財務・経営
2F会議室	II-6部会	大学の大众化
11F会議室	II-7部会	ファカルティ・ディベロップメント
15:20 ～ 17:50		
課題研究		
11F会議室	課題研究Ⅰ	青年期教育としての大学教育 -大学から職業への移行をめぐって-
2F中会議場 1&2	課題研究Ⅱ	高等教育とジェンダー
2F中会議場 3&4	課題研究Ⅲ	専門職大学院における教育と研究 :社会系を中心に
18:00 ～ 20:00		
懇親会		
学術総合センター3階食堂		

6月4日(日)		
9:15～ 受付		
10:00 ～ 12:00		
自由研究発表Ⅲ		
1F特別会議室	III-1部会	教員・研究者
2F中会議場1	III-2部会	教育改善
2F中会議場2	III-3部会	キャリア②
2F中会議場3	III-4部会	教育効果
2F中会議場4	III-5部会	教育費
2F会議室	III-6部会	大学院
11F会議室	III-7部会	大学の基準認定
13:00 ～ 13:30		
一橋記念講堂 総会		
13:40 ～ 16:30		
一橋記念講堂 公開シンポジウム		
高等教育のファンディングと評価		

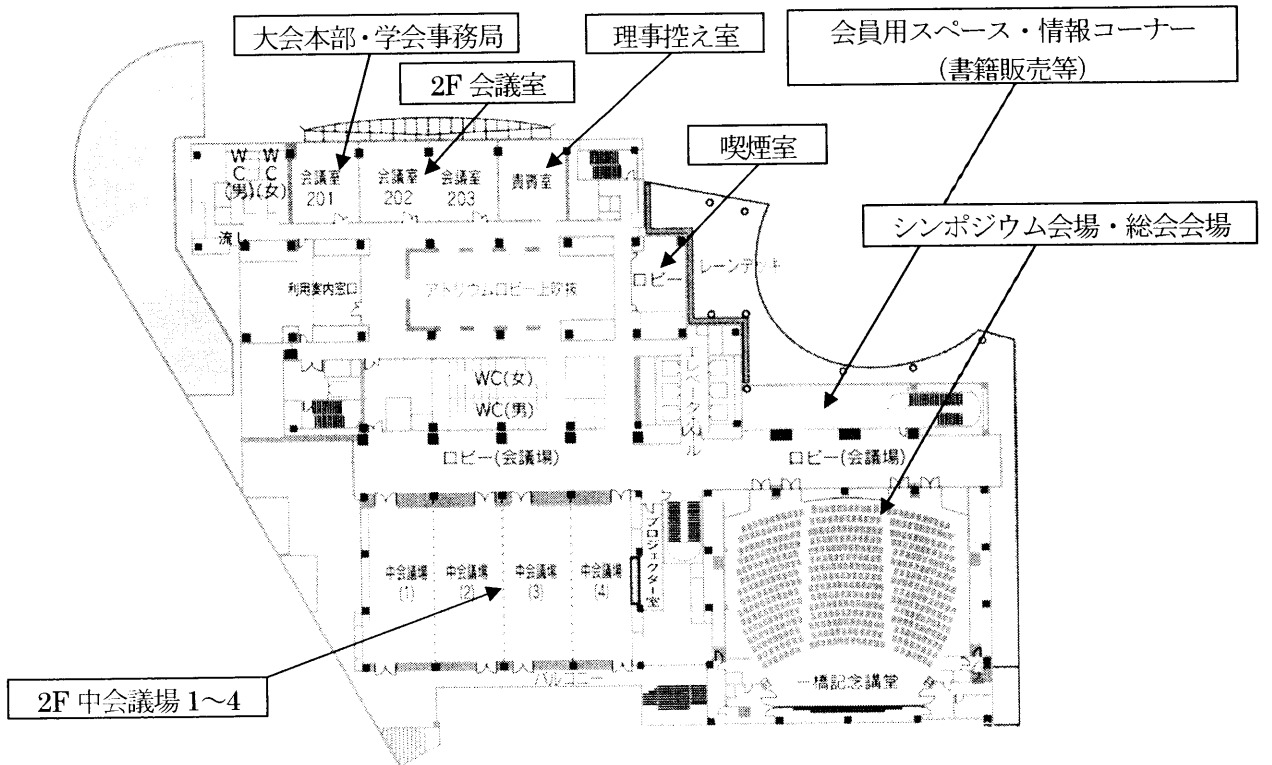
－ 会場案内図 －

1階



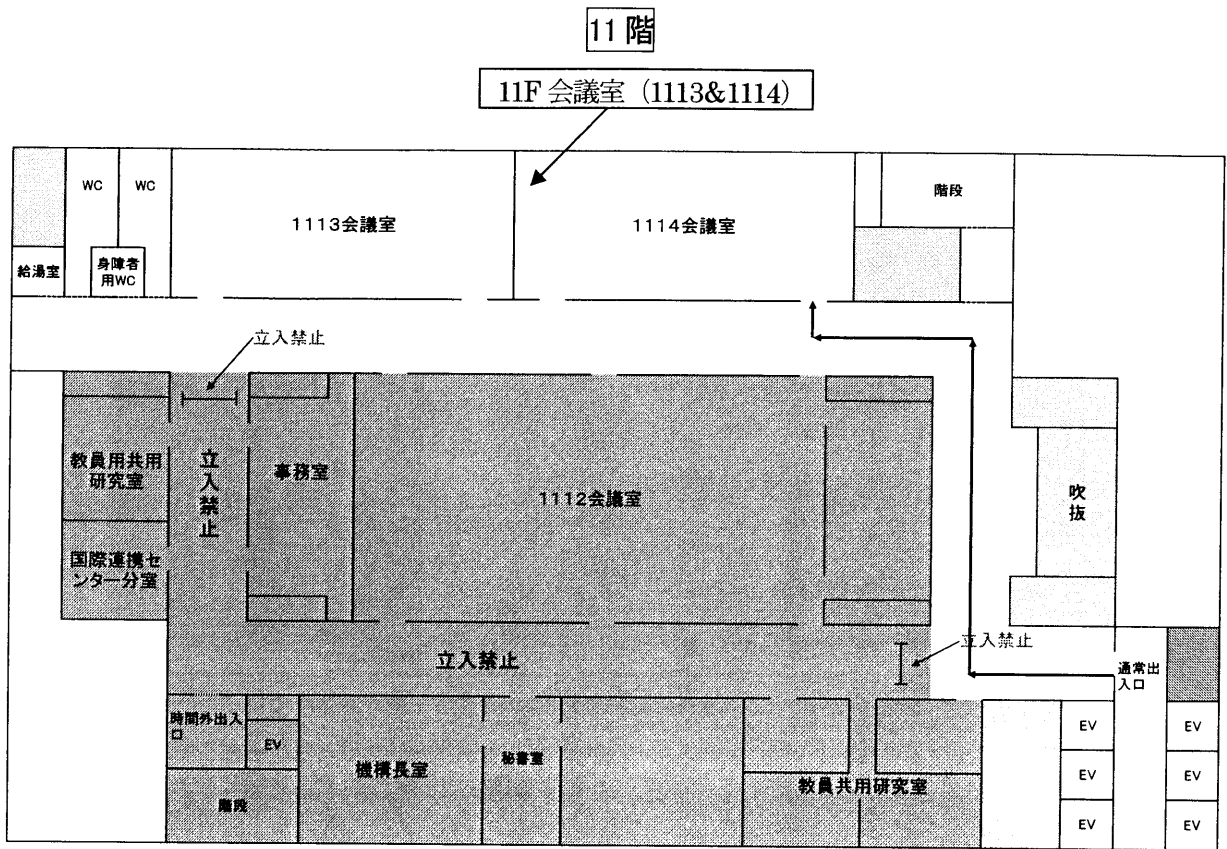
1F 特別会議室 (101～103)

2階



2F 中会議場 1～4

理事会会場 (2日)・紀要編集委員会 (3日)・シンポジウム打ち合わせ (4日) 会場については、後日該当の方に連絡します。



1 部会 1F 特別会議室

キャリア①

司会 本田 由紀(東京大学) 濱中 義隆(大学評価・学位授与機構)

10:00 - 10:20

大卒者のキャリア形成における大学教育と職業経験の効果
吉本 圭一(九州大学) ○山田 裕司(九州大学)

10:20 - 10:40

構造変容下の民営高等教育機関と労働市場とのリンケージ—中国大卒者調査からみた新市場の形成—
鮑 威(北京大学)

10:40 - 11:00

大学における「キャリア開発支援」授業の実験—B 大学文学部の「仕事と人生」をつうじて—
大江 淳良(ユニバーシティ・アクティブ)

11:00 - 11:20

アメリカにおける教員養成プログラムと教育実習：ウィスコンシン州とニューヨーク市の大学の事例研究
山崎 博敏(広島大学)

11:20 - 12:00

総括討論

2 部会 2F 中会議場1

大学の入口と出口

司会 岩永 雅也(放送大学) 佐藤 香(東京大学)

10:00 - 10:20

大学教育と社会階層化
○青 幹大(名古屋経済大学市邨高等学校非常勤講師) 村田 治(関西学院大学)

10:20 - 10:40

大学入試の中日韓比較
金 愛花(東京大学大学院)

10:40 - 11:00

社会人入学への阻害要因に関する一考察
出相 泰裕(大阪教育大学)

11:00 - 11:20

大卒者の「格差社会」観に関する考察 —全国意識調査から—
石塚 公康(読売新聞東京本社)

11:20 - 12:00

総括討論

3 部会 2F 中会議場 2

研究と評価

司会 荒井 克弘 (東北大学) 塚原 修一 (国立教育政策研究所)

10:00 - 10:20

オーストラリア・ニュージーランドの研究評価システム
○杉本 和弘 (鹿児島大学) 馬場 敏幸 (法政大学)

10:20 - 10:40

高等教育の若手研究者養成にかかる教育プログラムの模擬実践と評価
有本 章 (広島大学) 大場 淳 (広島大学) 小方 直幸 (広島大学)
○北垣 郁雄 (広島大学) 黄 福涛 (広島大学) 大膳 司 (広島大学)
横山 恵子 (広島大学)

10:40 - 11:00

特許出願からみた学術研究活動の分析
柴山 盛生 (国立情報学研究所)

11:00 - 11:20

国立大学法人の産学連携, 地域・社会貢献の評価とアカデミックプロフェッションのための組織マネジメント
○白川 志保 (広島大学) 白川 展之 (広島県)
西出 順郎 (琉球大学) 西出 優子 (大阪大学大学院)

11:20 - 12:00

総括討論

4 部会 2F 中会議場 3

経営管理

司会 伊藤 彰浩 (名古屋大学) 滝 紀子 (河合塾)

10:00 - 10:20

イギリスの大学職員のヒューマン・リソース・マネジメント
~Rewarding and Developing Staff in Higher Education~
上田 理子 (北海道大学大学院)

10:20 - 10:40

国立大学法人化と運営管理—日本と台湾の比較を中心に—
楊 武勳 (暨南国際大学)

10:40 - 11:20

国立大学法人化に伴う私立大学の経営意識に関する調査報告
○高橋 真義 (桜美林大学) ○鳥居 聖 (桜美林大学) 柳生 修二 (総合研究大学院大学)
米田 敬子 (桜美林大学) 橋爪 孝夫 (桜美林大学大学院)

11:20 - 12:00

総括討論

5 部会 2F 中会議場 4

学部教育

司会 濱名 陽子 (関西国際大学) 村山 詩帆 (佐賀大学)

10:00 - 10:20

これからの大学教育改革—金沢工業大学の取り組みをもとに—
侯野 秀典 (北陸先端科学技術大学院大学大学院)

10:20 - 10:40

日本における学士課程教育の自己評価—教育成果の把握状況分析—
串本 剛 (日本学術振興会特別研究員)

10:40 - 11:00

大学における自校教育授業の実施状況について
—国立大学を主対象とした「自校教育実施状況調査」をもとに—
大川 一毅 (秋田大学)

11:00 - 11:20

大学におけるカリキュラム設計および評価手法のモデル開発に関する考察
○鳥居 朋子 (名古屋大学) 夏目 達也 (名古屋大学) 近田 政博 (名古屋大学)
中井 俊樹 (名古屋大学) 青山 佳代 (名古屋大学) 佐藤 浩章 (愛媛大学)

11:20 - 12:00

総括討論

6 部会 2F 会議室

専門職教育

司会 小出 龍郎 (愛知学院大学) 橋本 鉦市 (東北大学)

10:00 - 10:20

看護基礎教育課程と卒後キャリア形成
○立石 和子 (九州看護福祉大学) 谷岸 悦子 (日本赤十字九州国際看護大学)
古賀 節子 (日本赤十字九州国際看護大学) 前田 由紀子 (九州看護福祉大学)

10:20 - 10:40

付属病院と一体化した統合型臨床教育の展開
水上 昌文 (茨城県立医療大学)

10:40 - 11:00

専門職業教育の質的保証—インターンシップ教育の現状と課題—
稲葉 めぐみ (茨城県立医療大学)

11:00 - 11:20

米国における教員養成のためのメンタリング・プログラム
渡辺 かよ子 (愛知淑徳大学)

11:20 - 12:00

総括討論

7部会 11F 会議室

大学のグローバル化

司会 江原 武一(立命館大学) 浜野 隆(お茶の水女子大学)

10:00 - 10:20

スタディ・アブロード・プログラムの参加費用に関する考察

—アメリカのリベラル・アーツ・カレッジの事例—

長山 道代(早稲田大学大学院)

10:20 - 10:40

外国大学の日本校の生存戦略—テンプル大学ジャパンの事例—

鳥井 康熙(日本学術振興会調査研究補助員)

10:40 - 11:35

国境を越える高等教育機関の動向と政府の国際化戦略—英国・香港の事例—

有本 章(広島大学)

北垣 郁雄(広島大学)

○大森 不二雄(熊本大学)

大膳 司(広島大学)

○横山 恵子(広島大学)

Keith Morgan(広島大学)

西尾 亜希子(武庫川女子大学)

李 東林(広島大学)

○叶 林(広島大学)

山野井 敦徳(広島大学)

黄 福寿(広島大学)

小方 直幸(広島大学)

大場 淳(広島大学)

11:35 - 12:00

総括討論

1 部会 1F 特別会議室

大学経営

司会 池田 輝政 (名城大学) 合田 哲雄 (文部科学省)

13:00 - 13:20

私立A大学における戦後の経営改革について
平塚 力 (東北大学大学院)

13:20 - 13:40

大学経営人材養成をめぐる課題～大学事務職員に対するアンケート調査結果を踏まえて
山本 眞一 (広島大学)

13:40 - 14:20

大学情報の収集・活用に対する情報システムの構築状況調査について
大川 一毅 (秋田大学) ○奥居 正樹 (広島大学) ○小湊 卓夫 (九州大学)

14:20 - 15:00

総括討論

2 部会 2F 中会議場1

学生の教育

司会 山内 乾史 (神戸大学) 神原 信幸 (日本学生支援機構)

13:00 - 13:20

学生の多様化と大学教育
新里 有未 (広島大学大学院)

13:20 - 14:15

大学生の適応過程から見た学士課程教育の課題
—大学新入生の適応と“移行”に関する個人追跡データによる分析(2)—
○濱名 篤 (関西国際大学) ○川嶋 太津夫 (神戸大学) ○吉原 恵子 (兵庫大学)
○白川 優治 (早稲田大学) ○佐野 秀行 (上智大学大学院) 濱名 陽子 (関西国際大学)
藤木 清 (関西国際大学) 小島 佐恵子 (立教大学)

14:15 - 15:00

総括討論

3 部会 2F 中会議場 2

大学の国際化

司会 田中 義郎 (桜美林大学) 秦 由美子 (大阪大学)

13:00 - 13:20

日本の大学教授市場の国際化に関する研究—中国系大学教員を中心に—
山野井 敦徳 (広島大学) ○劉 振宇 (広島大学大学院)

13:20 - 13:40

大学の国際化を阻む種々の課題 —東京大学を事例として—
船守 美穂 (東京大学)

13:40 - 14:35

大学国際化の評価指標の研究 (国際比較と指標策定)

○芦沢 真五 (大阪大学) ○古城 紀雄 (大阪大学) ○米澤 彰純 (大学評価・学位授与機構)
○大佐古 紀雄 (育英短期大学) 太田 浩 (一橋大学) ○鶴田 洋子 (東京工業大学)
堀井 祐介 (金沢大学) 黄 福涛 (広島大学)

14:35 - 15:00

総括討論

4 部会 2F 中会議場 3

大学教育の質保証

司会 大塚 雄作 (京都大学) 苑 復傑 (メディア教育開発センター)

13:00 - 13:20

オーストラリア・ニュージーランドの大学における教員評価システム
○馬場 敏幸 (法政大学) 杉本 和弘 (鹿児島大学)

13:20 - 13:40

中国の大学本科教育の質を保証する施策に関する考察
李 東林 (広島大学)

13:40 - 14:35

大学における教育活動の質的保証に関する研究 (3) —日本・米国・中国・韓国におけるFD活動の比較—

○有本 章 (広島大学) ○大膳 司 (広島大学) ○黄 福涛 (広島大学)
北垣 郁雄 (広島大学) 小方 直幸 (広島大学) 大場 淳 (広島大学)
横山 恵子 (広島大学) 渡辺 達雄 (金沢大学) 田中 正弘 (広島大学)
○木本 尚美 (県立広島大学)

14:35 - 15:00

総括討論

5 部会 2F 中会議場 4

財務・経営

司会 浦田 広朗 (麗澤大学) 田中 敬文 (東京学芸大学)

13:00 - 13:20

私立大学における拡大・縮小行動と資産の形成—1980年代後半以降に注目して—
両角 亜希子 (東京大学)

13:20 - 13:40

米国における大学院の財政基盤の多様性—東部の研究大学の事例から—
阿曾沼 明裕 (名古屋大学)

13:40 - 14:00

私立文系大学の歴史的展開と現在
小方 直幸 (広島大学)

14:00 - 14:20

学術研究活動に対する資源配分の構造
○加藤 毅 (筑波大学) 山本 眞一 (広島大学)

14:20 - 15:00

総括討論

6 部会 2F 会議室

大学の大衆化

司会 大塚 豊 (広島大学) 間瀬 泰尚 (神戸親和女子大学)

13:00 - 13:20

台湾における高等教育大衆化に関する研究
楊 思偉 (台湾師範大学)

13:20 - 13:40

高等教育のマス化と構造変化—日本の経験と中国の展望
劉 文君 (東京大学大学院)

13:40 - 14:00

アメリカ高等教育における非学位課程の拡大構造
林 未央 (日本学術振興会特別研究員)

14:00 - 14:20

大学設置の規制緩和をめぐる課題
鈴木 敏之 (文部科学省)

14:20 - 15:00

総括討論

7 部会 11F 会議室

ファカルティ・ディベロップメント

司会 小笠原 正明 (東京農工大学) 藤村 正司 (新潟大学)

13:00 - 13:20

IDを基盤としたFD担当者向け研修プログラムの開発

○佐藤 浩章 (愛媛大学) 曾田 紘二 (徳島大学)
稲永 由紀 (筑波大学) 吉田 香奈 (山口大学)

13:20 - 13:40

授業実践からのフィードバックを活かしたFDの試み

橋本 健夫 (長崎大学) ○林 朋美 (長崎大学)

13:40 - 14:20

研究大学におけるFD組織化の方法論に関する比較研究

○夏目 達也 (名古屋大学) ○中井 俊樹 (名古屋大学) 池田 輝政 (名城大学)
小湊 卓夫 (九州大学) 中島 英博 (三重大学)

14:20 - 15:00

総括討論

1 部会 1F 特別会議室

教員・研究者

司会 光田 好孝(東京大学) 岩田 弘三(武蔵野大学)

10:00 - 10:20

大学の研究者情報発信法 - 「人、もの、場」の3要素と受け手の理解に配慮した手法のモデル開発 -

○大辻 永(茨城大学) 伊藤 英男(茨城大学)
木村 義明(茨城大学) 廣木 法明(茨城大学)

10:20 - 10:40

英国高等教育資格課程における大学教員の専門性基準

加藤 かおり(新潟大学)

10:40 - 11:35

教員組織改革の現状と方向性 - 文部科学省委託に関するアンケート調査の中間結果をもとに -

○早田 幸政(金沢大学) ○青野 透(金沢大学)
○渡辺 達雄(金沢大学) ○工藤 潤(大学基準協会)

11:35 - 12:00

総括討論

2 部会 2F 中会議場1

教育改善

司会 井下 理(慶応義塾大学) 杉谷 祐美子(青山学院大学)

10:00 - 10:20

学生による授業評価と教員ポートフォリオ-教員評価における意義と課題-

山岸 みどり(北海道大学)

10:20 - 11:15

大学における教育改善と組織体制

塚原 修一(国立教育政策研究所) ○川島 啓二(国立教育政策研究所)
○北川 文美(国立教育政策研究所) ○小島 佐恵子(立教大学)
白川 優治(早稲田大学)

11:15 - 12:00

総括討論

3 部会 2F 中会議場2

キャリア②

司会 牧野 暢男 (日本女子大学) 中村 高康 (大阪大学)

10:00 - 10:20

キャリア支援プログラムにおける有効性認識について評価研究
—社会人基礎力学習のコンピテンシー的能力観点から—
野口 和枝 (秋草学園短期大学)

10:20 - 10:40

キャリア教育からみたカリキュラム改革の観点
南 学 (神田外語大学)

10:40 - 11:35

短期大学教育と卒業生のキャリア形成

○稲永 由紀 (筑波大学)

○白川 佳子 (長崎短期大学)

○石原 好宏 (福岡工業大学短期大学部) 安部 恵美子 (長崎短期大学)

吉本 圭一 (九州大学)

11:35 - 12:00

総括討論

4 部会 2F 中会議場3

教育効果

司会 秋永 雄一 (東北大学) 佐藤 広志 (関西国際大学)

10:00 - 10:20

大学教育におけるIT活用やeラーニングの推進方策—授業支援のための全学取り組みの推進方策について—
林 一夫 (メディア教育開発センター)

10:20 - 10:40

大学教育の文化習得効果(3)—地方国立と関西私立の1~3年次学生を対象とする追跡調査結果から—
大前 敦巳 (上越教育大学)

10:40 - 11:20

大学生の教育効果に関する研究(2)—2005年度JCSS調査の概要—

山田 礼子 (同志社大学)

○相原 総一郎 (大阪薫英女子短期大学)

杉谷 祐美子 (青山学院大学)

○沖 清豪 (早稲田大学)

11:20 - 12:00

総括討論

5部会 2F 中会議場4

教育費

司会 吉川 裕美子(大学評価・学位授与機構) 服部 憲児(大阪教育大学)

10:00 - 10:20

高等教育進学に対する所得の効果—高校3年生を起点とする追跡調査データを用いた検討—
朴澤 泰男(日本学術振興会特別研究員)

10:20 - 10:40

アメリカにおける連邦学生援助政策の展開—1993年学生ローン改革法以降を中心に—
吉田 香奈(山口大学)

10:40 - 11:00

授業料と奨学金の日米英豪比較
小林 雅之(東京大学)

11:00 - 11:20

無償制高等教育をめぐる政治動向—ドイツの事例—
潮木 守一(桜美林大学)

11:20 - 12:00

総括討論

6部会 2F 会議室

大学院

司会 木村 純(北海道大学) 濱中 淳子(リクルートワークス研究所)

10:00 - 10:20

農学系学部における環境冠学科の設置メカニズム
内山 弘美(東京大学非常勤研究員)

10:20 - 10:40

法科大学院制度はなぜ導入されたのか
三枝 麻由美(ブリティッシュ・コロンビア大学大学院)

10:40 - 11:00

政策系大学院教育のレリバンス—シンクタンクへのアンケート調査の分析—
長島 弥史郎(法政大学)

11:00 - 11:20

アメリカにおける大学院教育の課題
吉永 契一郎(東京農工大学)

11:20 - 12:00

総括討論

7部会 11F会議室

大学の基準認定

司会 舘 昭 (桜美林大学) 前田 早苗 (大学基準協会)

10:00 - 10:20

米国における営利大学のキャンパス展開と地域アクリディテーション

森 利枝 (大学評価・学位授与機構)

10:20 - 10:40

米国アクリディテーションにおける教育・学習成果の評価

福留 東土 (一橋大学)

10:40 - 11:35

大学改革における評価の機能と役割—自己点検評価, 認証評価, プログラム評価—

○羽田 貴史 (広島大学) ○大場 淳 (広島大学) ○田中 正弘 (広島大学)

○小貫 有紀子 (広島大学) 黄 福涛 (広島大学) 福留 東土 (一橋大学)

葛城 浩一 (香川大学) 米澤 彰純 (大学評価・学位授与機構)

渡邊 (黒田) あや (日本学術振興会特別研究員) 杉本 和弘 (鹿児島大学)

11:35 - 12:00

総括討論

11F 会議室

青年期教育としての大学教育—大学から職業への移行をめぐる—

司会	羽田 貴史	(広島大学)
報告者	白井 利明	(大阪教育大学)
	武内 清	(上智大学)
	小杉 礼子	(日本労働政策研究・研修機構)

趣旨

高等教育機会の拡大は、伝統的な大学教育の変容とともにライフコースの変容をもたらしてきた。入職し経済的に自立する時期が延びることでモラトリアム期が広がり、成人期への移行が長期にわたるようになったのである。青年から成人への移行時期はポスト青年期と呼ばれ、そのパターンは、労働市場、企業・家族・政府の役割、さらには親子関係を含めた各国の社会制度・文化・価値観によって多様であることが指摘されている。

日本においては、ここ数年、フリーター・ニート・若年失業者など、学校から職業への移行の様態が変わり、社会問題化している。2005年5月、自由民主党政務調査会がとりあげ、6月には中教審がニート問題を背景に「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」を諮問したことで、社会問題から政治の課題にもなっている。213万人といわれる若年失業者のうち、大学・大学院卒業者は48万人であり、その理由について、新規学卒者の採用縮小・雇用形態の変化か、若者の労働意欲の喪失かをめぐって論争となっている(『読売新聞』2006年3月23日論壇など)。

各大学では従来の就職支援を拡大したキャリア教育や学生支援に取り組んでいるが、まだ模索的である。ポスト青年期の課題に対応した大学教育の課題が顕在化しているともいえるし、ユニバーサル化を迎え、同世代の50%が大学・短大に進学し、80%が高等教育機関に進学する社会の大学教育は、青年期教育としての機関であることを改めて考える必要がある。

今年度は、職業への移行で生じている問題を切り口に、心理学的側面、社会学的側面からアプローチすることにした。

小杉礼子報告(日本労働政策研究・研修機構、『フリーターとニート』2005年5月、『キャリア教育と就業支援』2006年2月など)は、主に「学校から職業への移行」の視点で、移行プロセスの変化と変化していない部分の特徴を整理し、個人のキャリア形成にもたらす意味、大学教育に求められる対応、大学教育以前の初等・中等教育でのキャリア教育の課題を提起する。

白井利明報告(大阪教育大学、近著『迷走する若者のアイデンティティ』2005年12月など)は、主に「青年期における人格形成の課題」の視点で、青年期における人格形成の筋道を整理し、現代青年の実態から大学の課題を検討する。

武内清報告(上智大学、『大学とキャンパスライフ』2005年8月)は、主に「学生の視点からの大学教育」として、大学生に関するデータや学生に接した印象から現代大学生・学生文化の特質が、大学の多様性によってどのように変化しているのかを検討し、大学の課題を整理する。

2F 中会議場(1&2)

高等教育とジェンダー

司会	山田 礼子	(同志社大学)
報告者	坂本 辰朗	(創価大学)
	藤村 久美子	(東洋英和女学院大学)
	加野 芳正	(香川大学)
コメンテーター	濱名 陽子	(関西国際大学)

趣旨

高等教育におけるジェンダーは古くて新しい問題である。それは、高等教育の機会平等を実現するイシューとして、マイノリティ、ハンディキャップを持つ人々への施策とともに各国の高等教育政策に位置づけられてきた。しかし、機会平等を実現するための政策課題というだけでなく、ジェンダーの視点を持つことは社会における性役割分業の見直し、高等教育における知の再構築の可能性にもつながる。残念ながら現在までのところ、ジェンダーの視点に基づいて、高等教育のカリキュラムや教授法、管理運営スタイルについてそれほど議論されてこなかったことも事実である。このような状況を踏まえながら、ジェンダーの視点から高等教育を分析すれば、何が問題であるのか、何が見えてくるのか、どのように高等教育を変革させる可能性があるのか。こうした問題意識に基づきながら、本課題研究ではジェンダーの視点からアメリカと日本を取り上げ、高等教育の現状と課題を分析することを目的とする。

本研究課題では(1)アメリカの高等教育へのジェンダー研究のインパクト、(2)日本における増加する社会人女子学生と大学教育の可能性、(3)ジェンダーに基づいた政策目標と日本の高等教育の課題について論じる。

2F 中会議場(3&4)

専門職大学院における教育と研究：社会系を中心に

司会 吉田 文 (メディア教育開発センター)

報告者 後藤 昭 (一橋大学法科大学院)

「法科大学院がもたらしたもの」

青井 倫一 (慶応大学大学院経営管理研究科、ビジネス・スクール)

「日本のビジネス・スクールの将来」

小林 信一 (筑波大学大学研究センター)

「知識社会におけるプロフェッショナリズムを考える」

趣旨

わが国にも、アメリカのプロフェッショナル・スクールをモデルとした専門職大学院が登場して2年が経過した。本課題研究は、とくに社会系の専門職大学院を対象として、そこにおける教育内容、大学院としての研究機能の実態を検討し、今後の日本の社会にどのように根付いていくのかを検討することを目的とする。

第1に教育面では、専門職業に必要な特定の範囲の知識やスキルを確実に身につけるためのスタンダードな教育を行う専修学校や資格取得予備校の教育に近いのか、あるいは、伝統的な大学の教育が目指してきた、問題発見・解決に有用な幅広い学識の教授に近いのか、専修学校や大学と比較した専門職大学院の教育の位置づけが問われている。

第2に、大学院が研究機能をもつことを前提としたとき、専門職大学院は、その領域としての新たな学問の体系化を目指すのか、その場合、後継者をどのように養成するのか、あるいは、従来の大学院における研究や後継者養成とは異なる研究の形態をとるようになるのかが問われている。

こうした問題設定にもとづき、第1に、専門職が国家資格とリンクしている法科大学院を、第2に、わが国では専門職としては十分に確立していないが、今後の増加が見込まれるビジネス・スクールをとりあげ、そこにおける教育と研究の実態を検討する。さらに、第3に、これらを総括し、日本で生じている現象を、大学院の機能や大学における知のあり方の変容の広い文脈において、どのように位置づけることができるか、今後の大学における知のあり方にどのような影響を及ぼすと考えることができるのかを論じる。

一橋記念講堂

高等教育のファンディングと評価

司会 山本 清 (国立大学財務・経営センター) 小林 雅之 (東京大学)

報告者 木村 孟 (大学評価・学位授与機構 機構長)

黒木 登志夫 (岐阜大学 学長)

濱名 篤 (関西国際大学 学長)

西井 泰彦 (私学振興・共済事業団 私学経営相談センター長)

小山 竜司 (文部科学省)

コメンテーター 金子 元久 (東京大学)

趣旨

18歳人口の減少、経済の低迷、政府財政の逼迫や家計所得の頭打ち、など日本の国公立大学を取り巻く財政状況は、厳しいものがあります。また他方で、経済や研究開発の国際競争力強化に対する大学への役割期待、大学の教育効果向上への企業や学生からの要求、などが顕在化しています。このような限られた財源と高まる期待や要求に対して、高等教育には、資源の効率的効果的な配分や活用が求められています。高等教育の資金調達や配分、すなわちファンディングのあり方を検討することは、高等教育政策にとって今後ますます重要な課題となることが予想されます。

資源の効率的効果的利用を目指す試みは、すでに始まっています。すなわち最近のファンディングの傾向は、国公立大学とも機関補助から、競争的な資金配分にシフトしています。国立大学への運営費交付金や私立大学への経常費補助金に比べ、科学研究費は拡大してきました。また近年では、COEや教育GPプログラムに代表される競争的資金も大きくなっています。

機関補助についても一律的平等的な配分から、成果や特色に応じて補助額が決定される傾向にあります。例えば国立大学では、2004年4月より国立大学の法人化に伴って、目標、計画、評価のサイクルが導入され、国立大学法人評価委員会の評価を受けます。そしてその評価は、その次の中期目標・計画と予算に反映されることになっています。

このように高等教育の効率や効果を期待するファンディングには、評価が資金提供者と高等教育機関を媒介し、そのあり方も問題となります。

2002年11月の学校教育法の改正により、認証評価制度が導入され、私立大学を含むすべての大学が、国の認証を受けた評価団体から評価を受けなければなりません。この評価は、直接には予算配分には結び付けられてはおりませんが、評価が外部資金獲得や学生募集に影響し、大学の財政財務にも間接的に影響することも考えられます。

このように高等教育のファンディングと評価とは深く結びついており、それぞれのあり方を模索するには、両者を同時に検討することが重要です。このシンポジウムでは、「高等教育のファンディングと評価」と題して、そのあり方を検討します。そこでは、まず現在のファンディングと評価を取り巻く状況を報告していただきます。そして国立大学からの視点、私立大学からの視点、特に私学経営との関連性、そして行政政策からの視点で、それぞれの関係者から報告していただきます。

－ 日本高等教育学会第9回大会プログラム －

発行日：2006年4月15日

発行者：日本高等教育学会第9回大会準備委員会

－ 準備委員会 －

委員長

丸山 文裕 (国立大学財務・経営センター)

委員

山本 清 (国立大学財務・経営センター)

島 一則 (国立大学財務・経営センター)

大多和 直樹 (東京大学)

両角 亜希子 (東京大学)

大会準備委員会

〒101-0003 千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター10階
国立大学財務・経営センター 研究部内
日本高等教育学会 第9回大会準備委員会
TEL : 03-4212-6204
FAX : 03-4212-6250
E-mail : he-edu@zam.go.jp

自由化時代の“質保証”と“説明責任”—— ● 発行 2005年12月15日 ● 体裁 A4判 746頁 ● 定価 32,000円

[21C 新訂版] 大学・短大の設置認可申請・届出マニュアル

～事前規制から事後チェックへの大転換期を拓く～

編集 大学改組転換増設研究会

■設置の“原則自由化”と説明責任、留意事項の公表と社会評価

04年度案件から文科省HPで公表されている認可時の“留意事項”。学園側に要望される年次計画アフターケアに係る“留意事項”の積極的開示。的確な説明責任をはたさないと厳しい社会評価にさらされる。

■大競争・自由化時代——改めて問われる「質の高い大学づくり」!

“設置届出制度”の導入による自由な組織改編、“構造改革特区”における株式会社立での設置等、ますます“何でもあり”の中で、大学教育の質を担保した「設置プラン」の進化へのガイド書。

●第1章「高等教育計画経営と設置認可・届出制度」

新・高等教育への政策展開をフォロー、4人のキーパースン(山本眞一、館沼、絹川正吉、田村富彦氏)による論考を含み、不易かつ再構築すべきコンセプトと実現方策を明確化

●第2章「大学・短大の設置認可申請・届出マニュアル」

公・私立に加え、株式会社立による認可申請・届出マニュアル

●第3章「資料編」

関連法令、04・05年度の大学・短大の届出設置のリスト等の収録

◎本書における初登場

1. 大学のレーゾンデートルと中長期の戦略プラン
2. 構造改革特区の活用策～学校法人/株式会社
3. 届出設置制度と届出マニュアル
4. 学校設置会社による設置マニュアル
5. 法人合併・設置者変更・廃止マニュアル
6. 年次計画の履行状況報告及び変更計画の作成マニュアル 等

第24集 ● 発行：2003年3月25日 ● 体裁：A4判 328頁 ● 定価：27,000円(税込)

教員評価制度の導入と大学の活性化

～評価・処遇システムの開発と実際～

第25集 ● 発行：2003年4月30日 ● 体裁：A4判 196頁 ● 定価：19,000円(税込)

成績評価の厳格化と学習支援システム

～GPA運用と学生の履修管理力の育成～

第26集 編集：遠隔・遠隔教育研究会 ● 発行：2004年1月10日 ● 体裁：A4判 332頁 ● 定価：49,000円(税込)

大学・大学院通信教育の設置・運営マニュアル

～通学制とのバーチャル化の中での教育・経営戦略～



地域科学研究会・高等教育情報センター

URL <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
TEL (03)3234-1231 FAX (03)3234-4993
E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp

教育学関係学術図書のご案内

価格は税込。

日本工業教育発達史の研究

広島大学名誉教授 三好 信浩著 19950円

27年前に刊行し、好評を博した『日本工業教育成立史の研究』の続編。「文部省簿書」などの新資料を駆使し、敗戦時に至るまでの工業教育の発達史を体系的に論述。

教員人事評価と職能開発

九州大学教授 八尾坂修編著 8400円

教員人事評価をめぐる諸外国の事情と、日本の人事評価システムの基本構造を究明し、期待される教師像のための新たなプログラムを開発した。

歴史教育内容改革研究

鳴門教育大学助教授 梅津 正美著 12075円

米国で開発された社会史に基づく歴史教育プログラムを分析し、社会史教授の理論と方法を解明することを通して、歴史教育内容改革の理論的・実践的な方向性を示す。

高校生の選択制カリキュラムへの適応過程

小樽商科大学助教授 岡部 善平著 11550円

高等学校「総合学科」における生徒の科目選択、学習活動、進路選択の過程を事例分析し、カリキュラムの形態と生徒の適応行動との関連性を理論的・実証的に解明。

デューイの経験的自然主義と教育思想

尚美学園大学教授 對馬 登著 7875円

デューイの教育論、特に学校教育論を経験的自然主義の世界観および人間観を基礎として考察した人間中心の教育科学論。教育の科学性を解明しようとした好著。

戦後日本高等教育行政研究

大阪市立大学教授 細井 克彦著 14700円

激変する大学の震源を求めて、高等教育行政研究の観点から、戦後の高等教育政策と科学技術政策を歴史的、構造的に解明。大学自治論の再構築を目指す。(重版出来)

市町村教育長の専門性に関する研究

岩手県教育委員会主任管理主事 佐々木幸寿著 9450円

教育行政の固有性と専門性の問題の核心に位置する教育長の職務遂行能力について、我が国ではじめて体系的に論究。教育長の選考・養成・職能開発に重要な知見を提供。

戦後日本教員研修制度成立過程の研究

立命館大学教授 久保富三夫著 15750円

自らの教職経験に基づく「研究の自由保障」の重要性を問題意識として、戦後教員研修制度成立過程の特質、内在する課題を日米の資料を駆使して総合的・実証的に解明。

中等歴史教育内容開発研究

新潟大学教授 児玉 康弘著 16800円

閉ざされた歴史教授を開かれた歴史学習へ転換するための新しい教育内容を、解釈批判学習・批判的解釈学習、主題(社会問題)学習の原理に基づき体系的に開発。

<対話>による説明的文章の学習指導

熊本大学助教授 河野 順子著 19950円

説明的文章の学習指導に、「メタ認知の内面化モデル」の理論に基づく<対話>の概念・方法を導入し、「学習者の側に立つ」実践に新生面を拓こうとするものである。

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

新時代の大学経営人材 アドミニストレーター養成を考える

山本 眞一・村上 義紀・野田 邦弘 編著
B 6判 342頁 定価2,600円(本体2,476+税)

文部科学教育通信連載(2002年1月~2004年8月)+書き下ろし
国立大学の法人化によって国立大学の事務職員のあり方が本格的に問われ始めている。事務職員がいかにして前向きに大学経営に力を注ぐことができるかが、その国立大学の将来を左右するといっても過言ではない。本書は、大学経営に主体的に関わるアドミニストレーターの養成のために、国立・私立・公立大学ごとの制度と組織整備を考察し、具体的展開を考える。
4-921124-43-4 (平成17年6月発行)

大学の構造転換と戦略 Part 2

山本 眞一 著 A 5判 192頁 定価2,100円(本体2,000+税)

文部科学教育通信連載(2002年3月~2003年5月)+書き下ろし
国立大学法人化法の成立、専門職大学院や認定評価の制度化、大学設置認可等の規制緩和、21世紀COEプログラムなどの競争的資源配分の実施、18歳人口の減少に伴う私立大学の経営危機等について著者の理論と独自の考察を展開。本書で扱う用語の索引付。
4-921124-21-3 (平成15年10月発行)

大学の構造転換と戦略

山本 眞一 著

A 5判 226頁 定価2,100円(本体2,000+税)

文部科学教育通信連載(2000年4月~2002年4月)+書き下ろし
国立大学法人化を目前にした、日々の現実的課題にどう取り組むか。1年先、2年先、3年先の将来を見据えた大学改革新設計、自己研鑽プラン。
4-921124-09-4 (平成14年7月発行)

私立大学倒産時代における再建手法と破産処理についての研究

岩崎 保道 著 A 5判 174頁 定価2,100円(本体2,000+税)

私学淘汰の時代といわれる今日、経営破綻に陥った大学法人の再建及び破産処理に関する分析・研究を通じ、大学破綻時の問題点を指摘し、改善するための政策提言が緊急に求められている。本書は、M&Aを介しての大学法人の再建、大学閉鎖時における学生救済のためのガイドラインの提言等、画期的な研究成果を紹介する。
4-921124-36-1 (平成17年3月発行)

知識社会と大学経営 (5月上旬刊行予定)

山本 眞一 著

B 5判 354頁(予定)

文部科学教育通信連載(2003年6月~2005年11月)+書き下ろし
国立大学の法人化を契機とする国公私立大学のマネジメント改革の進展、大学教育の変貌を、国際化や18歳人口減少等の大きな環境変化の中でとらえ、大学ガバナンスのあり方等の具体的問題を提起する。職員の役割と能力開発、大学院問題の本質などをテーマに、知識社会の中の大学のあり方を実践的に検討する。大学に関わるあらゆるレベル必読の大学論である。



ジ アース
教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17 NK第2ビル

電話 03-5282-7183/FAX 03-5282-7892

E-mail: info@kyoikushinsha.co.jp

URL http://www.kyoikushinsha.co.jp/

大学・短期大学・専修学校のための Recruit College Management

リクルート「カレッジマネジメント」

リクルート
カレッジマネジメント 134
Recruit College Management

いまどきの高校生は
何を考えているか



- 年6回発行
- A4変形版 70ページ
- 全国の高等教育機関の経営陣に送付

■132号 (05.5.1)

特集／流動化する学生をどう受け入れるか

背景-複数の高等教育機関を移動する時代に備えて
現状-埼玉大・東京工科大・慶大の受け入れ方針とその認定方法

■133号 (05.7.1)

特集／「日本の人材市場」現在 そして10年後-

2015年人材マーケット予測(年代・産業・職業・就業形態)
座談会 - 起業の人事担当者はどう見ているか

■134号 (05.9.1)

特集／いまどきの高校生は何を考えているか

ルポ - ネット世代の情報の集め方と使い方
ルポ - 高校生の意識と行動をどう捉えどう対応していくか

■135号 (05.11.1)

特集／ブランドを確立する

解説 - 大学にとって「ブランド」とは何か
事例 - 大学の「ブランド」力を高めるために 産能大/立教大/南山大

■136号 (06.1.1)

特集／広がるプロフェッショナル大学院

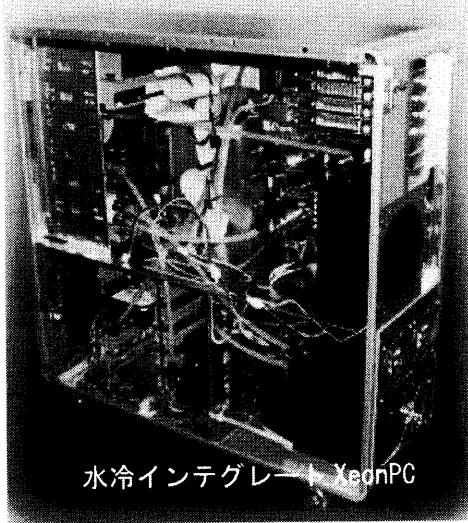
「学位名称」が増え、どんな問題が生じているか
早急に必要分野別認証評価機関 社会人の大学院選択基準

■137号 (06.3.1)

特集／改革を進めるための職員能力開発研修

研修事例 - 中京女子大、武蔵野大、京大、滋慶学園グループ
大学コンソーシアム京都、大学行政管理学会など

カスタムPCここに極まる！



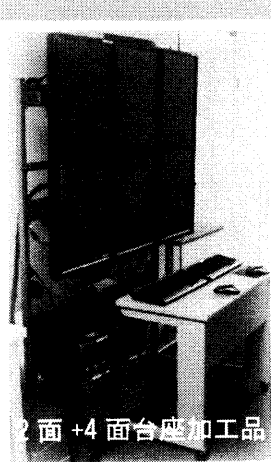
水冷インテグレート XeonPC

こんな事ありませんか？

メーカー純正PCでは役不足・・・
ワークステーションは割高で・・・
ショップPCはゲーム向けが多くて・・・
画面がほしい欲しい・・・

そんなつづやきを
私達が解決します！

ゼロから組み立ててもOK！
アップグレードや調整もお任せ下さい。



2面+4面台座加工品

PCの悩みは千差万別！
かゆい所に手を届けます！

HDD等の破損データ復旧
ネットワーク等の不具合解消
ウイルス・スパイウェア除去
消耗品パーツの交換など

株式会社 **リミットマックス**

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 4-3 千葉県経営者会館 305
TEL 043-203-1811 FAX 043-203-1812
E-mail: info@limitmax.com
URL: http://www.limitmax.com

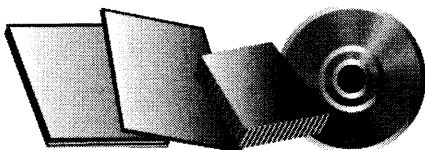


印刷から製本まで・・・

一貫生産システムを構築

あらゆる顧客ニーズに応え

ご要望にお応えいたします。



マニュアル・テキスト
ポスター・シール
CD・帳票
... etc

株式会社 **ワナー**

千葉市稲毛区六方町 13番地 2号
TEL043-421-2936 FAX043-422-1781
E-mail: BDS02085@nifty.com

学園情報システムの新時代を創造する

キャンパスプラン.NET Framework

全国600校超の導入実績

Webを超え、C/Sを超えた学園ハイブリッドシステム

Webの手軽さとC/S型の高い操作性を兼ね備えたまったく新しい学園運営支援システム。

【学務系システム】【法人系システム】【Webサービスシステム】に

多彩な製品ラインナップを取りそろえました。

経営資源を有効活用!!

基本システム

- 学生募集情報システム
- 入試情報システム
- 学籍・教務情報システム
- 学籍・教務情報システム(高校版)
- 学籍・教務情報システム(専門学校版)
- 就職情報システム
- 学納金情報システム

学務系システム

サブシステム

- OMR入試採点サブシステム
- センター試験サブシステム
- 出欠情報サブシステム
- 定期試験サブシステム
- 進路指導サブシステム

Webシステム

- Web履修申請システム
- Web時間割参照システム
- Web成績登録システム
- Web掲示板システム
- Web学生カルテシステム
- Web教職員情報変更届システム
- Webシラバスシステム
- Web給与明細参照システム

法人系システム

基本システム

- 学校法人会計情報システム
- 備品・固定資産情報システム
- 学校法人人事情報システム
- 学校法人給与情報システム

サブシステム

- 予算編成サブシステム
- 予算執行サブシステム
- 業者支払サブシステム
- 退職情報サブシステム
- 教員業績情報サブシステム
- 人件費シミュレーションサブシステム

オプションプログラム

- 研究費執行オプション
- 旅費精算オプション
- 消費税計算オプション
- 税務オプション
- 選及計算オプション

新発売

国公立大学法人会計基準に完全対応!

『国公立大学財務会計システム』

●詳しくはホームページをご覧ください。または下記まで資料をご請求ください。(電話・FAX・E-mailにて)



●www.systemd.co.jp ●E-mail:cpseikyu@systemd.co.jp

株式会社 システム デイ 学園ソリューション事業部

本社営業部：〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る

東日本営業部：〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2 藤和浜松町ビル2階

TEL.075-256-7585 FAX.075-256-7590

TEL.03-3434-5081 FAX.03-3434-5082

大学行政論 I

大学行政論 II

川本八郎編
近森節子

(大好評発売中)

A5・並製
216頁・2415円

川本八郎編
伊藤昇

A5・並製
320頁・2415円

今大学に不可欠なのは優れた行政力だ。内外多岐にわたる諸課題に対処し得る行政力をいかにして培うか。立命館大学の総力を挙げ、これ迄の改革経験に基づき具体的に追求する。

大学の管理運営改革

日本の行方と 諸外国の動向 江原武一 編著
杉本均

A5・上製
320頁・3780円

改革遂行主体の在り方を追求せずして真の改革はあり得ない。わが国初の本格的な研究。

新時代を切り拓く大学評価

日本とイギリス

アジア・太平洋高等教育の未来像

(財)静岡総合機構編 馬越徹監修

大学教育の改革と教育学

K・ノイマン著 小笠原道雄・坂越正樹監訳

大学教授の職業倫理

別府昭郎著

あたらしい教養教育をめざして

大学教育学会25年史編纂委員会編

一年次(導入)教育の日米比較

山田礼子著

私立大学の経営と教育

丸山文裕著

教育改革への提言集1〜4

日本教育制度学会編

教育における比較と旅

石附実著

自己への固着を解き放つ比較と旅の教育的意義を再評価。

A5・上製・三三六頁・三七八〇円

四六・上製・二四八頁・二六二五円

四六・並製・二一六頁・二六二五円

四六・上製・二四〇頁・二五〇〇円

四六・上製・五四四頁・三〇四五円

A5・上製・二六四頁・二九四〇円

A5・上製・二五八頁・三七八〇円

各A5・並製・二九四〇円

四六・並製・二四〇頁・二一〇〇円

宇佐美寛著 授業の根本的改革のための三部作

大学の授業 (5刷)

各A5・上製・二六二五円

大学授業の病理 (2刷)

二四八頁
二七二頁
二〇八頁

大学教育の思想

— 学士課程のデザイン —
絹川正吉著

大学教育の現在

— P・ケネディ著 坂本辰朗・立川明・井上比呂子訳 —
寺崎昌男著

大学の責務

— 立川明・井上比呂子訳 —
大学史研究会編

歴史としての大学理念

— 「大学とは何か」を改めて問う —

原点に立ち帰っての大学改革

— 立教学院のディレクタ —
館 昭著

ミッション・スクールと戦争

— 老川慶善 編著 前田一男 著 —

改革のなかを生きて

— 潮木守一 著 —

学力と学歴の社会学

— 原田彰 編著 —

昭和と教育史

— 天皇制と教育の史的展開 —
久保義三著

講座 21世紀の大学・高等教育を考える 全4巻

各A5・並製・平均三四二頁・三三六〇円

第1巻 大学改革の現在

— 有本章 編著 —

第2巻 大学評価の展開

— 山本真一 編著 山野井敦徳 著 —

第3巻 学士課程教育の改革

— 清水一彦 編著 絹川正吉 著 —

第4巻 大学院の改革

— 江原武一 編著 馬越徹 著 —